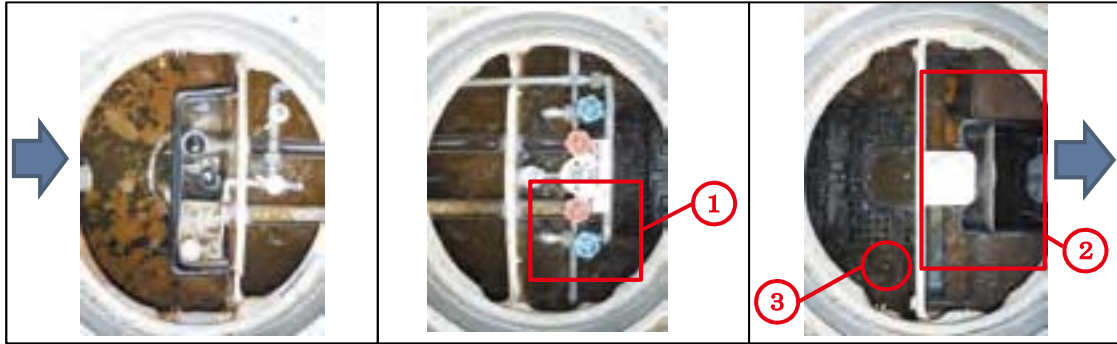


性能評価型(事例7) 流量調整の移送水量を減少した事による水質改善事例

【槽内状況】



維持管理要領書より 5人槽 流量調整の移送水量(2.8~4.20ℓ/分) 循環水量(0.7~2.10ℓ/分)

事例番号	7			浄化槽メーカー	㈱クボタ	
処理方式	性能評価型 BOD除去型			浄化槽型式	HY	
法定検査日	平成 24 年 11 月 5 日			人槽	5 人槽	使用人員 6 人
測定項目	1次処理 1室	1次処理 2室	2次処理	処理水槽／沈殿槽	放流水	
スカム厚(cm)	1未満	0	—	10	透視度	7 度
堆積汚泥厚(cm)	27	—	10	18	DO	2.6 mg/ℓ
透視度(度)	6	—	5		pH	7.4

法定検査からの 状況連絡・指示内容	槽内状況	1次処理1室にスカムが少なく、2次処理槽に押し流されている。 沈殿槽にスカム厚10cm、堆積汚泥厚18cmあり多い。 2次処理機能低下 内液透視度5度 日平均汚水量 1.34m ³ /日 槽内水位LWL付近 採水時間9:10				
	対策	2次処理槽の負荷を軽減する為、スカム及び堆積汚泥を移送する。 流量調整の移送水量を基本4Q~6Qより減らし2Q(1.90ℓ/分)に変更する。 循環水量は変更なしの2.00ℓ/分でございます。				
保守点検からの措置 返信内容	11月7日	指示通り調整する。 2次処理槽の汚泥移送は繰り返し2回行う。 2次処理槽内透視度 7度に回復。			透視度	8 度
					DO	2.5 mg/ℓ
					pH	7.4
	11月21日	2次処理槽の汚泥移送は繰り返し3回行う。 2次処理槽内透視度 18度に回復。			透視度	26 度
				DO	4.0 mg/ℓ	
				pH	7.5	
12月5日	透視度回復しました。 2次処理槽の汚泥移送は1回行う。 2次処理槽内透視度 34度に回復。			透視度	52 度	
				DO	5.4 mg/ℓ	
				pH	7.1	

【ポイント】



HY型 移送水量の測定方法
移送管出口にエルボー管を取付け測定する。

沈殿槽にスカムの発生が多い。10cm

接触ばっ気槽底部汚泥の状況。
10cm堆積(多く、濃度が濃い)